令和7年度　新規

緊 急 防 災 工 事 計 画 書

農村地域防災減災事業
（防災重点農業用ため池緊急整備事業）

ため池群萩間川2期地区

事業主体	静　　岡　　県

目　　次

第1章　目　　的 ・・・・・・・・・ 1

第2章　地域及び地積 ・・・・・・・・・ 1
　第1節　地　　域 ・・・・・・・・・ 1
　第2節　地　　積 ・・・・・・・・・ 1

第3章　現　　況 ・・・・・・・・・ 2
　第1節　気象及び海象 ・・・・・・・・・ 2
　　1. 一般気象 ・・・・・・・・・ 2
　　2. 特殊気象 ・・・・・・・・・ 2
　　3. 海　　象 ・・・・・・・・・ 3
　第2節　土地状況 ・・・・・・・・・ 3
　　1. 地形、土壌及び浸食の程度 ・・・・・・・・・ 3
　　2. 土地分類 ・・・・・・・・・ 4
　　3. 土地利用の状況 ・・・・・・・・・ 4
　　4. 土地所有の状況 ・・・・・・・・・ 5
　第3節　水利状況 ・・・・・・・・・ 5
　　1. 用水状況 ・・・・・・・・・ 5
　　2. 排水状況 ・・・・・・・・・ 7
　　3. 河川状況 ・・・・・・・・・ 9
　第4節　道路現況 ・・・・・・・・・ 9
　　1. 道路概況 ・・・・・・・・・ 9
　　2. 主要道路一覧表 ・・・・・・・・・ 9
　第5節　地域農業の概況 ・・・・・・・・・ 10
　　1. 産業別就業人口 ・・・・・・・・・ 10
　　2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数 ・・・・・・・・・ 10
　　3. 動力農機具及び主要家畜頭数 ・・・・・・・・・ 11
　　4. 主要作物作付状況 ・・・・・・・・・ 12
　　5. 農業の動向 ・・・・・・・・・ 13
　第6節　地域環境の概況 ・・・・・・・・・ 13

第4章　一般計画 ・・・・・・・・・ 14
　第1節　事業計画の要旨 ・・・・・・・・・ 14
　　1. 要　　旨 ・・・・・・・・・ 14
　　2. 事業別面積 ・・・・・・・・・ 14
　第2節　営農計画及び土地利用計画 ・・・・・・・・・ 14
　　1. 営農計画の概要 ・・・・・・・・・ 14
　　2. 土地利用区分 ・・・・・・・・・ 14
　　3. 作付方式 ・・・・・・・・・ 15
　　4. 生産計画 ・・・・・・・・・ 15
　　5. 労働改善計画 ・・・・・・・・・ 16
　　6. 級地別土地利用区分 ・・・・・・・・・ 16
　　7. 土地配分計画 ・・・・・・・・・ 17
　第3節　用水計画 ・・・・・・・・・ 17
　　1. 計画基準年 ・・・・・・・・・ 17
　　2. 計画かんがい方式 ・・・・・・・・・ 17
　　3. 計画用水系統 ・・・・・・・・・ 17
　　4. 計画用水量 ・・・・・・・・・ 17
　　5. 水源計画 ・・・・・・・・・ 18
　第4節　排水計画 ・・・・・・・・・ 21
　　1. 計画基準雨量 ・・・・・・・・・ 21
　　2. 計画排水方式 ・・・・・・・・・ 21
　　3. 計画排水系統 ・・・・・・・・・ 21
　　4. 計画排水量 ・・・・・・・・・ 21
　　5. 排水対策 ・・・・・・・・・ 21
　　6. 湛水検討 ・・・・・・・・・ 22
　第5節　道路計画 ・・・・・・・・・ 22
　　1. 道路及び索道 ・・・・・・・・・ 22
　　2. 路線配置図 ・・・・・・・・・ 22
　第6節　農用地造成計画 ・・・・・・・・・ 23
　　1. 農用地造成計画 ・・・・・・・・・ 23
　　2. 土壌改良 ・・・・・・・・・ 23
　第7節　洪水調節計画 ・・・・・・・・・ 23
　　1. 計画基準雨量 ・・・・・・・・・ 23
　　2. 計画洪水量及び調節量 ・・・・・・・・・ 23
　　3. 貯水池 ・・・・・・・・・ 23
　　4. 洪水調節検討 ・・・・・・・・・ 23
　　5. 管理計画 ・・・・・・・・・ 24
　第8節　干拓計画 ・・・・・・・・・ 24
　第9節　農用地整備計画 ・・・・・・・・・ 24
　　1. 区画整理 ・・・・・・・・・ 24
　　2. 暗渠排水 ・・・・・・・・・ 24
　　3. 客　　土 ・・・・・・・・・ 25
　　4. 農地保全 ・・・・・・・・・ 25
　第10節　老朽ため池改修計画 ・・・・・・・・・ 26
　　1. 洪水吐改修計画 ・・・・・・・・・ 26
　　2. 堤体補強計画 ・・・・・・・・・ 26
　　3. 取水施設改修計画 ・・・・・・・・・ 26

第5章　主要工事計画 ・・・・・・・・・ 27
　第1節　用水施設 ・・・・・・・・・ 27
　　1. 貯水池 ・・・・・・・・・ 27
　　2. 頭首工 ・・・・・・・・・ 28

3. 揚水機 ・・・・・・・・・ 28
4. 用水路 ・・・・・・・・・ 28
5. その他かんがい施設 ・・・・・・・・・ 28
第2節　排水施設 ・・・・・・・・・ 29
1. 排水水門 ・・・・・・・・・ 29
2. 排水機 ・・・・・・・・・ 29
3. 排水路 ・・・・・・・・・ 29
4. その他排水施設 ・・・・・・・・・ 29
第3節　道路及び索道 ・・・・・・・・・ 30
1. 道　　路 ・・・・・・・・・ 30
2. 索　　道 ・・・・・・・・・ 30
第4節　農用地造成 ・・・・・・・・・ 30
1. 農用地造成 ・・・・・・・・・ 30
2. 土壌改良 ・・・・・・・・・ 31
第5節　洪水調節施設 ・・・・・・・・・ 32
1. 貯水池 ・・・・・・・・・ 32
2. 頭首工及び導水施設 ・・・・・・・・・ 32
第6節　干拓施設 ・・・・・・・・・ 32
1. 堤　　防 ・・・・・・・・・ 32
2. 潮止め ・・・・・・・・・ 32
3. 付属施設 ・・・・・・・・・ 33
4. 埋　　立 ・・・・・・・・・ 33
第7節　農用地整備施設 ・・・・・・・・・ 33
1. 区画整理 ・・・・・・・・・ 33
2. 暗渠排水 ・・・・・・・・・ 34
3. 客　　土 ・・・・・・・・・ 34
4. 除　　礫 ・・・・・・・・・ 34
5. 農地保全 ・・・・・・・・・ 35
第8節　老朽ため池改修施設 ・・・・・・・・・ 36
1. 貯水池 ・・・・・・・・・ 36
2. 堤体補強施設 ・・・・・・・・・ 37

第6章　附帯工事計画 ・・・・・・・・・ 37

第7章　工事の着手及び完了の予定時期 ・・・・・・・・・ 37

第8章　環境との調和への配慮 ・・・・・・・・・ 38

第9章　換地計画の概要 ・・・・・・・・・ 39
第1節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 ・・・・・・・・・ 39
第2節　換地区の設定 ・・・・・・・・・ 39
1. 換地区の名称, 所在, 面積 ・・・・・・・・・ 39
2. 換地区を設定する理由 ・・・・・・・・・ 39
第3節　換地計画樹立の基本方針 ・・・・・・・・・ 39
1. 従前の土地の面積の基準 ・・・・・・・・・ 39
2. 用途別予定地籍 ・・・・・・・・・ 40
3. 農用地集団化の方針 ・・・・・・・・・ 40
4. 非農用地の換地方法 ・・・・・・・・・ 40
第4節　土地の評価及び精算の方法 ・・・・・・・・・ 41
1. 評価の方法 ・・・・・・・・・ 41
2. 精算の方法 ・・・・・・・・・ 41
第5節　換地計画樹立の年度計画 ・・・・・・・・・ 41
第6節　換地処分の時期に関する特則 ・・・・・・・・・ 41

第10章　事業費の総額及び内訳 ・・・・・・・・・ 42

第11章　効　　用 ・・・・・・・・・ 43

第12章　関連する事業 ・・・・・・・・・ 43

第13章　現況・計画図面 ・・・・・・・・・ 43
1. 計画一般図 ・・・・・・・・・ 44
2. 計画平面図･標準断面図 ・・・・・・・・・ 45
3. 土地利用計画図 ・・・・・・・・・ 46

第1章　　目　　的

耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では、地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時においては、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす恐れがある。付帯施設についても、堤体の改修に合わせた一体的な施設整備が望まれている。

また、静岡県は、全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくないほか、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。

第2章　　地域及び地積

第1節　　地 域

（第1表）

事　　業　　名	地　　域
農村地域防災減災事業　（防災重点農業用ため池緊急整備事業）	牧之原市　白井地内ほか

第2節　　地 積

（令和6年12月 現在）　（第2表）

事　業　名	現況地目 / 市町村名	田（ha）	畑（ha）	原　野（ha）	山　林（ha）	その他（ha）	計（ha）	備　　考
農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業）	牧之原市	6.6	10.1				16.7	百所池、沢木大池、東沢池、奥の池（ため池群萩間川2期地区）
合　　計		6.6	10.1	－	－	－	16.7	

第3章 現　　況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

（気象庁HP「過去の気象データ」より）

観測所名	静岡地方気象台	かんがい期 5月～9月	非かんがい期 10月～4月	年間 合計/平均	備考
観測期間	1985～2021				
平均気温		22.4 ℃	11.6 ℃	16.8 ℃	
降水量	平均	1499.2 ㎜	834.8 ㎜	2334.0 ㎜	
	基準年				
降水日数	平均	67日（月平均 11日）	44日（月平均 7日）	111日（月平均 9日）	
（1.0mm以上）	基準年				
無霜期間（平年値）					
最多風向		NE	最大瞬間風速　33.7m/s(SW)		最多風速：1985～2021（16方位） 最大風速：1985～2021（16方位）

2. 特殊気象

観測所名	静岡地方気象台	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位		
観測期間	S25～R3	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
最大時間雨量	(mm)	111.5	H15.7.4 1	1/407	83.5	H3.9.14 2	1/42	81.5	H16.6.30 9	1/35	76.0	S49.7.7 22	1/23	73.5	S62.8.6 3	1/18
最大4時間連続雨量	(mm)	283.5	H15.7.4 0～3	1/688	253.5	S49.7.7 22～25	1/258	189.0	H16.6.30 7～10	1/31	162.4	S29.9.18 18～21	1/13	161.0	S58.6.24 3～6	1/13
最大日雨量	(mm)	401.0	R1.10.12	1/142	368.0	H16.6.30	1/80	318.0	H14.7.10	1/33	297.5	S57.9.12	1/23	288.5	H13.9.10	1/20
最大連続雨量	(mm)	508.0	S49.7.7 ～7.8	1/92	497.0	S57.9.10 ～9.12	1/81	414.0	R1.10.11 ～10.12	1/30	368.0	H16.6.30 ～6.30.14	1/17	363.5	H26.10.5.1 ～10.6	1/16
最大連続干天日数	(日)	55.0	H17.11.7 ～12.31	1/163	51.0	S.48.11.11 ～12.31	1/87	44.0	S61.1.5 ～2.17	1/29	41.0	H23.1.1 ～2.10	1/18	40.0	S37.1.2 ～2.10	1/16
三日連続雨量	(mm)	518.0	S49.7.6 ～8	1/92	497.0	S57.9.10 ～12	1/70	463.0	H15.8.14 ～16	1/45	414.0	R1.10.11 ～13	1/24	398.0	S58.8.15 ～17	1/20

3. 海 象

※該当なし

（第3表-3）

観測所名		既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
観測期間	年～年								
実測値									

第2節　土地状況

1. 地形，土壌及び侵食の程度

（第4表-1-1）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高 (m)		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
										8°～10°	10°～15°	8°～15°						
農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業）	面積 ha		6.6				6.6		10.1						10.1	44.0	15.0	
	比率 %		100				100		100						100			
	面積 ha																	
	比率 %																	
合計	面積 ha		6.6				6.6		10.1						10.1			
	比率 %		100				100		100						100			

（第4表-1-2）

項目 / 土壌統(区)名	土壌統（区）区分一覧表											面積 (ha)			備考
	土壌断面									堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	土性 下層土 ・・・	泥炭層，黒泥層及びグライ層			農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業）		計	
上土方統	灰	あり	あり	なし	CL	CL	SiL		－	－		16.7		16.7	
掛川3統	黒褐	あり	あり	なし	CL	LiC	LiC		－	－					
計												16.7		16.7	

※該当なし　　（第4表-1-3）

事業名	区　分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸蝕の程度		備　考
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積（ha）											
	比率（%）											

2.　土地分類

※該当なし　　（第4表-2-1）

級地別 ＼ 市町村名	農用地造成											計（ha）	備　考
	一級地（ha）	二級地				三級地				四級地			
		※（ha）	3°～8°（ha）	8°～12°（ha）	12°～15°（ha）	※（ha）	15°～20°（ha）	20°～25°（ha）	25°～30°（ha）	※（ha）	30°以上（ha）		
													※は傾斜以外の要因によるもの
計													

※該当なし　　（第4表-2-2）

級位別 ＼ 市町村名	干拓					備　考
	一級地（ha）	二級地（ha）	三級地（ha）	四級地（ha）	計（ha）	
計						

3.　土地利用の状況

（令和6年12月 現在）　　（第4表-3）

事業名	土地利用別 ＼ 市町村名	耕地						山林		採草放牧地（ha）	原野（ha）	その他（ha）	計（ha）	備　考
		水田（ha）	普通畑（ha）	牧草畑（ha）	樹園地（ha）	茶園（ha）	その他の樹園地（ha）	用材林（ha）	薪炭林（ha）					
農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業）	牧之原市	6.6	10.1										16.7	（ため池群萩間川2期地区）
													－	
													－	
合　計		6.6	10.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	16.7	

4.　土地所有の状況

（令和6年12月 現在）　（第4表-4）

事業名	所有別 / 区分	個人所有	部落所有	市町村所有	国所有	計	備考
農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業）	面積（ha）	16.7				16.7	
	受益者数（人）					－	
	筆数（筆）					－	
	権利関係	なし				－	
	備考（関係戸数）					－	
合計	面積（ha）	16.7				16.7	
	受益者数（人）					－	
	筆数（筆）	―				－	
	権利関係	なし				－	
	備考（関係戸数）					－	

第3節　水利状況

1.　用水状況

現況と同じ

(1)用水系統

現況と同じ

(2)用水施設

(ア)取水方法一覧表

（第5表-1）

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 10ha 以上 箇所	ha	5～10 ha 箇所	ha	5ha 未満 箇所	ha	計 箇所	ha	水利権（最大） 箇所	m3/S	慣行水利権 箇所	m3/S	延べ取水量 m^3/S	備考
農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業）	貯水池	4	16.7					4	16.7						ため池群萩間川2期地区
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
合計		4	16.7	－	0.0	－	0.0	4	16.7						

(イ)改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	貯水池	百所池	3.3	均一型	堤長 53.00m 堤高 5.30m	S45	耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時においては、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす状況である。 また、静岡県は全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくない地震、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。	
		沢木大池	2.5	傾斜遮水ゾーン型	堤長 75.30m 堤高 5.70m	S57		
		東沢池	7.2	傾斜遮水ゾーン型	堤長 58.50m 堤高 8.70m	S62		
		奥の池	3.7	傾斜遮水ゾーン型	堤長 50.00m 堤高 6.50m	S5		
	井堰							
	自然取入口							
	揚水池							
	用水路							
	その他							
合計			16.7					

(3)用水に関する被害状況

(ア)用水不足による被害状況

※該当なし

(第5表-3-1)

事業名	系統名 項目	かんがい面積(ha)	現況必要水量(千m³)	不足水量 かんがい期最大不足水量 平均(m³/S)	不足水量 かんがい期最大不足水量 基準年(m³/S)	不足水量 かんがい期総不足水量 平均(千m³)	不足水量 かんがい期総不足水量 基準年(千m³)	平均減産量(t) 作物名	平均減産量(t) 減産量(t)	備考
合計										

(イ)その他の被害状況

※該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積(ha)	水温(℃) 最高	水温(℃) 最低	水質	被害量(t)	備考

(4)ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額 (百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)	3.9	4.6	14.8	23.3	10,727	−	198,070	−	489,177	697,974	
合計	3.9	4.6	14.8	23.3	10,727	−	198,070	−	489,177	697,974	

2. 排水状況

※該当なし

(1)排水系統

※該当なし

(2)排水施設

(ア)排水方法一覧表

※該当なし

(第5表-4)

事業名	項目 / 施設名		排水面積 500ha以上		500ha～100ha		100ha未満		計		排水慣行	現況排水能力	備考
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	(m3/S)	(m3/S)	
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合計													

(イ)改修を要する施設一覧表

※該当なし

(第5表-5)

事業名	項目 / 施設名		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	施設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合計									

(3)排水に関する被害状況

※該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 / 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状(ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (m)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
合計		0.0	平均														
			基準年														

3.　河川状況

(1)河川の状況

※該当なし　　(第5表-7)

項　目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m3/S)	既往最大洪水量 (m3/S)	備考

(2)洪水に関する被害状況

※該当なし　　(第5表-8)

項　目 河川名	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節　道路現況

1.　道路概況

※該当なし

2.　主要道路一覧表

※該当なし　　(第6表)

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			

第5節　地域農業の概況

1.　産業別就業人口　　（第7表-1）

項目 / 市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	電気ガス熱供給水道業（人）	運輸通信業（人）	卸売小売飲食店業（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
牧之原市	23,875	2,501	4	137	24	1,734	8,064	90	1,276	3,609	262	204	5,159	521	290	令和2年度 国勢調査
計	23,875	2,501	4	137	24	1,734	8,064	90	1,276	3,609	262	204	5,159	521	290	
比率(%)	100.0	10.475	0.6911			7.263	33.776	0.377	5.345	15.116	1.097	0.854	21.608	2.182	1.215	

2.　経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数　　（第7表-2）

項目 / 市町村名	農家総戸数	経営耕地広狭別農家数（戸）											1戸当たり平均農用地面積（ha）						耕地の分散状況		専兼業別農家戸数（戸）			備考
		例外規定の適用を受けるもの	0.3 ha～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0 ha～以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当り団地数	団地当り面積	専業	兼業 第1種	兼業 第2種	
牧之原市	1,641	119	158	223	131	75	164	151	66	19	9	526	0.2	0.1	1.1	1.4	0.0	1.4			1,061	ー	ー	2020年 農林業センサス (R2)
計	1,641	119	158	223	131	75	164	151	66	19	9	526	0.2	0.1	1.1	1.4	0.0	1.4			1,061	0	0	
比率(%)	100.0	7.3	9.6	13.6	8.0	4.6	10.0	9.2	4.0	1.2	0.5	32.1	14.3	7.1	78.6	100.0	0.0	100.0			100.00	0.00	0.00	

3.　動力農機具及び主要家畜頭数　　（第7表-3）

項目 / 市町村名	動力農機具										主要家畜								備考
	トラクター		動力田植機		コンバイン						乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（羽）	戸数（戸）	
牧之原市	523	495	420	412	224	219					0	0	0	2	5,438	9	6	3	2020年農林業ｾﾝｻｽ(R2) ※動力農機具について未掲載のため2015年を記載
計	523	495	420	412	224	219					0	0	0	2	5,438	9	6	3	
100戸当たり数量(台)		106		102		102													台／戸数
利用戸数割合（%）		30.2		25.1		13.3						0.0		0.1		0.5		0.2	戸数／農林業経営体数×100

4.　主要作物作付状況

（第7表-4）

市　町　名			牧之原市				計	平均	作付率（%）	備　考
総耕地 面積		（ha）	2,409				2,409	2,409		
総本地 面積		（ha）	2,350				2,350	2,350		
作物名	区分		作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10 a）	作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10 a）	作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10 a）		
田	表作	水稲	499	546			499	546	21%	総耕地面積
										・2020年農林業ｾﾝｻｽ（R2）
										作付面積・単位面積当り収量
	裏作									
	小　計		499				499			総本地面積の算定
畑	だいこん		34	1,810			34	1,810	1%	・本地面積／総面積　（牧之原市）
	冬レタス		126	3,310			126	3,310	5%	3,648 / 3,740 = 0.9754
	大豆		1	97			1	97	1%	
										・総耕地面積×0.9754 =　総本地面積
	小　計		161				161			本地面積記載最終年度
樹園地										第37次 静岡農林統計年報（H元）P28 参照
	小　計									
計			660				660		29%	
市町村別延べ作付率（%）			29%							

5.　農業の動向　　（第7表-5）

区分＼項目	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考
		B（H27）	A（現在）		B（H27）	A（現在）	作物名	B（H27）	A（現在）	家畜名	B（H27）	A（現在）	農機具名	B（H27）	A（現在）		
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	89	67	耕地	90	78	水稲	97	93	乳用牛	0	0	動力田植機	70	70		A：現在 令和2年（農林業センサス2020） B：平成27年（農林業センサス2015） C：平成22年（農林業センサス2010）
	専業農家数	110	213	田	85	70	だいこん	88	85	肉用牛	0	0	トラクター	81	81		
	第一種兼業農家数	65	－	畑	107	128	冬レタス	96	98	豚	159	134	コンバイン	90	90		
	第二種兼業農家数	91	－	樹園地	90	77	大豆	75	25	採卵鶏	0	0					
	農業従事者数	55	76														
変化の理由	社会経済の発展や農業構造の発展が進み、他産業への就労機会の増大により総農家数が減少傾向にある。			基盤整備等による変化			営農形態の変化			生産環境の変化			農業経営の変化による				

第6節　地域環境の概況

市街地の背後に位置する森林は、木材の供給はもとより、土砂流出などの国土の保全や野生鳥獣の生息地になっているとともに、市街地への新鮮な大気の供給などの公益的機能を持ち、その大切さが認識されてきている。

しかし、市街地の周辺においては、都市的な土地利用への転換に伴って樹林地が徐々に減少しつつあり、また、地権者の高齢化や薪炭林としての利用価値が失われたことなどにより管理が放置され、荒廃した樹林地が多くなっている。荒廃した樹林地は、樹木が密生してうっそうとし、人が近づきにくい環境であるとともに、様々な機能を持った森林空間としての存在価値も著しく低下していると考えられる。

このようなことから、本市の市街地を取り巻くまとまった森林は、都市的な発展と調和させ、保全・活用を図るための方策を検討し、自然環境との共存共生システムを次世代へと受け継いでいくことが重要である。

第4章　一般計画

第1節 事業計画の要旨

1.要　旨

耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では、地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時においては、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす恐れがある。付帯施設についても、堤体の改修に合わせた一体的な施設整備が望まれている。

また、静岡県は全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくない地震、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。

2.事業別面積

（第8表）

事業名	農村地域防災減災事業　ため池整備事業												計(ha)	備考
土地利用区分 / 事業目的	水田(ha)	普通畑(ha)	山林(ha)	市街地(ha)	その他(ha)	小計(ha)	水田(ha)	普通畑(ha)	山林(ha)	市街地(ha)	その他(ha)	小計(ha)		
ため池改修	2.9	0.4				3.3							3.3	百所池
		2.5				2.5							2.5	沢木大池
		7.2				7.2							7.2	東沢池
	3.7					3.7							3.7	奥の池
計	6.6	10.1				16.7							16.7	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1.営農計画の概要

※該当なし

2.土地利用区分

（第9表-1）

事業名	土地利用区分 / 区分	水田(ha)	普通畑(ha)	牧草畑(ha)	果樹園(ha)	茶園(ha)	その他(ha)	小計(ha)	原野(ha)	山林(ha)	その他(ha)	計(ha)	備考
農村地域防災減災事業	現況	6.6	10.1					16.7				16.7	百所池、沢木大池、東沢池、奥の池
防災重点農業用ため池緊急整備事業	計画	6.6	10.1					16.7				16.7	
計	現況	6.6	10.1					16.7				16.7	
	計画	6.6	10.1					16.7				16.7	

３．作付方式

播種○　　定植×　　収穫△

（第9表-2）

事業名	項目	地目	区分／作物	1年目 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年目 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
防災重点農業用ため池緊急整備事業 農村地域防災減災事業	現況	水田(表)	水稲					×	×			△	△							×	×			△	△		
	計画	水田(表)	水稲					×	×			△	△							×	×			△	△		

４．生産計画

※該当なし

（第9表-3）

事業名	項目／地目名		作物名	作付面積 (ha) 現況	計画	増減	作付率 (%) 現況	計画	単位面積当り収量 (kg/10a) 現況	計画	増減	生産量 (t) 現況	計画	増減	同左生産量増減の内訳 面積増減量	単位面積当収量増加	備考
	水田	表作															
		裏作															
	普通畑	春夏作															
		秋冬作															
	計																

5．労働改善計画

※該当なし

（第9表-4）

事業名	項目 / 地目名	作物名	作付面積	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
	計		0.0					

6．級地別土地利用区分

※該当なし

（第9表-5）

区分 / 級地名	土地利用区分	農用地造成					干拓					備考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
	田											
	輪換耕地											
	畑											
	普通畑											
	牧草畑											
	樹園地											
	（果樹園）											

７．土地配分計画

※該当なし

（第9表-6）

項目 / 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)									備考
		田	輪換耕地	畑						計	
				普通畑	牧草畑	樹園地					

第3節　用水計画

１．計画基準　**※該当なし**

２．計画かんがい方式　**※該当なし**

３．計画用水系統　**※該当なし**

４．計画用水量

(1)かんがい用水

※該当なし

（第10表-1-1）

項目 / 系統名	種別	面積 (ha) / 事業名 / 農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業	水田かんがい			畑地かんがい			田畑輪換						消費水量	損失量	粗用水量		備考
									水田かんがい			畑地かんがい							
			普通期	代掻期	面積	1日当り計画平均かん水深	平均間断日数	面積	普通期	代掻期	面積	1日当り計画平均かん水深	平均間断日数	面積			平均	最大	
			計画平均単位用水量 (mm/日)	計画代掻単位用水量 (mm/日)	(ha)	(m3/日)	(日)	(ha)	計画平均単位用水量 (mm/日)	計画代掻単位用水量 (mm)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(m3/S)	(m3/S)	(m3/S)	(m3/S)	

(2)営農飲雑用水

※該当なし

(第10表-1-2)

区　　分	利用目的	対象面積			日当り給水量		補給回数	関係戸数	備　　考
		事業名			単位給水量	最大給水量			
				計					

5．水源計画

(1)水利用計画

※該当なし

(第10表-2)

項目 / 区分	消費水量 a (千m3)	有効雨量 b (千m3)	純用水量 c＝a-b (千m3)	粗用水量 d＝α(1-a) (千m3)	現況利用可能水量			不足量		水源保存量		水源工種	備　　考
					水源名	取水地点利用可能量 e (千m3)	田畑面利用可能量 f (千m3)	純不足量 g＝c-f (千m3)	全不足水量 h＝d-e (千m3)	水源名	水量 (千m3)		

(2)用水対策

(ア)貯水池

（第10表-3）

項目 / 貯水池名	流域面積 (km2)		かんがい面積 (ha)			有効貯水量	利用貯水量	利用回数	最大取水量	備考
	直接	間接	田	畑・その他	計	(千m3)	(千m3)	(回)	(m3/s)	
百所池	0.035	－	2.9	0.4	3.3	3.2			0.050	
沢木大池	0.104	－	0.0	2.5	2.5	6.0			0.030	
東沢池	0.152	－	0.0	7.2	7.2	9.4			0.060	
奥の池	0.128	－	3.7	－	3.7	5.6			0.060	
計	0.419	－	6.6	10.1	16.7					

(イ)井堰及び自然取入口

※該当なし

（第10表-4）

項目 / 取水施設	河川名	流域面積	かんがい面積 (ha) 事業			取水量		渇水量	備考
			地区内	地区外	計	最大 (m3/s)	平均 (m3/s)	(m3/s)	
								－	

(ウ)揚水機

※該当なし

（第10表-5）

項目 / 名称	水源名	かんがい面積 (ha) 事業			所要水量		揚水機				備考
		地区内	地区外	計	最大 (m3/s)	平均 (m3/s)	実揚程 (m)	揚水量 (m3/s)	台数 (台)	全揚水量 (m3/s)	

(エ)用水路

※該当なし

（第10表-6）

項目 / 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m3/s)	延長 (m)	構造	備考
	地区内	地区外	計				

(オ)その他の水源

※該当なし

(3)水温水質

※該当なし

第4節　排水計画

１．計画基準雨量　　※該当なし

２．計画排水方式　　※該当なし

３．計画排水系統　　※該当なし

４．排水量

※該当なし　　（第11表-1）

項目 / 排水系統名	受益面積（ha）			流域面積（ha）		基準雨量（mm）	降雨による直接単位流出量（m3/s）		基底流量（m3/ha）		全洪水量（m3/s）			単位排水量（m3/s/ha）		備考
	事業										山地	平地				
	農地	その他	計	山地	平地		山地	平地	山地	平地		自然排水	機械排水	山地	平地	
計																

５．排水対策

(1)排水水門

※該当なし　　（第11表-2）

項目 / 名称	流域面積（km²）	受益面積（ha）			計画排水量		排水本川			備考
		事業			排水量（m3/S）	地区内たん水深（m）	名称	計画降水量（m3/S）	計画洪水位（m）	
				計						

(2)排水機

※該当なし　　（第11表-3）

項目 / 名称	流域面積（km²）	受益面積（ha）			計画排水量		排水機			備考
		事業			排水量（m3/S）	地区内たん水深（m）	名称	計画降水量（m3/S）	計画洪水位（m）	
		農地	その他	計						

(3)排水路

※該当なし

(第11表-4)

項目 / 名称	流域面積 (ha)	受益面積(ha) ー 事業			計画排水量 (m3/S)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		農地	その他	計				名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	

(4)その他

6．たん水検討

※該当なし

(第11表-5)

系統名	受益面積 (ha)	計画洪水量 (m3/S)	既設排水能力 (m3/S)	必要排水能力 (m3/S)	排水方式	標高			湛水状況(許容湛水位以上)			備考
						田面標高	計画外水位	最高外水位	最大湛水面積	計画内水位	最大湛水時間	

第5節　道路計画

1．道路及び索道

(1)道路

※該当なし

(第12表-1)

項目 / 路線名	幅員(有効) × 延長(m)	構造	既設道路との関係	備考

(2)索道

※該当なし

(第12表-2)

項目 / 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2．路線配置図

※該当なし

第6節　農用地造成計画

１．農用地造成計画

※該当なし

（第13表-1）

項目 / 地目名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

２．土壌改良

※該当なし

（第13表-2）

項目 / 区分	面積	土壌	pH		置換酸度	リン酸吸収係数	ha当り所要量			備考
			H O	KCl	（V）	(ma/100a)	石灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節　洪水調節計画

１．計画基準雨量

※該当なし

２．計画洪水量及び調節量

※該当なし

（第14表-1）

地点	流域面積 (km2)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m3/s)	安全洪水量 (m3/s)	必要調節量 (m3/s)	ピーク時調節の量 (m3/s)	ピーク時調節後流量 (m3/s)	調節後最大流量 (m3/s)	調節前後の最大流量の差 (m3/s)	最大調節量 (m3/s)

３．貯水池

※該当なし

（第14表-2）

項目 / 貯水池名	流域面積		計画洪水量	貯水量			計画調節流量	可能調節流量	備考
	直接 (km2)	間接 (km2)	(m3/s)	有効 (千m3)	洪水調節容量 (千m3)	多目的 (千m3)	(m3/s)	(m3/s)	

４．洪水調節検討

(1)河川改修計画との関係　**※該当なし**

(2)洪水調節が下流に及ぼす影響　**※該当なし**

(3)計画基準雨量以外の降雨についての検討　**※該当なし**

5．管理計画

(1)管理機構　※該当なし

(2)ダム管理操作上の各種基準　※該当なし

(3)洪水調節要領　※該当なし

第8節　干拓計画

※該当なし

(第15表)

項目／名称	延長 (m)	計画高潮水位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節　農用地整備計画

1．区画整理

(1)区画形状

※該当なし

(第16表-1)

長辺×短辺	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差 (cm)	備考

(2)表土扱い

※該当なし

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考

(3)末端道水路配置図

※該当なし

2．暗渠排水

(1)暗渠排水

※該当なし

(第16表-3-1)

項目／区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方式	備考
			計						

(2)心土破砕

※該当なし　　(第16表-3-2)

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名		計	土壌統(区)名	土壌硬度	備考

3．客土

※該当なし　　(第16表-4)

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名		計	土壌統(区)名	減水深(mm/日) 現況平均	減水深(mm/日) 計画平均	作土の厚さ(cm) 現況平均	作土の厚さ(cm) 計画平均	10a当り客土量(m3)	土壌の性質 受益地(%)	土壌の性質 採土地[客土材料](%)	備考

4．農地保全

(1)防災林

※該当なし　　(第16表-5-1)

項目 / 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2)排水工

※該当なし　　(第16表-5-2)

項目 / 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量 単位排水量(m3/s/ha)	排水量 全排水量(m3/s)	備考

(3)侵食(崩壊)防止工

※該当なし

(第16表-5-3)

項目 / 施設名	位置	支配面積(ha)	機能	備考

第10節　老朽ため池改修計画

１．洪水吐改修計画

(1)計画基準雨量

百所池:150.0mm/hr　沢木大池:138.5mm/hr　東沢池:103.6mm/hr　奥の池:137.3mm/hr

(2)計画洪水量

百所池:1.278m3/s　沢木大池:3.50m3/s

東沢池:3.68m3/s　奥の池:4.45m3/s

２．堤体補強計画

百所池　上流側は腹付け盛り土で安全率を確保し、下流側は押さえ盛土にて耐震性を確保する。

沢木大池　現行の基準に合致した余裕高等に改修を行う。上下流斜面ともに、押さえ盛土にて改修を行う。

東沢池　掘削置換え(改良土)によって改修を行う

奥の池　堤体上下流側ともに、改良土置換及び押え盛土の施工に加え、基礎地盤の地盤改良を行い耐震性を確保する。

３．取水施設改修計画

百所池　斜樋は、適時適量の取水が可能なスライドバルブ巻き上げ型式とし、底樋は、プレキャスト底樋管とする。

沢木大池　現況施設を活用し斜樋に緊急放流機能を付加する。

東沢池　斜樋バルブを付け替える。緊急放流機能を付加する。

奥の池　緊急放流機能を付加する。

第1節 用水施設

1．貯水池

（第17表-1）

名称	ため池群萩間川2期			位置	牧之原市 男神 地内			百所池		
堤体	型式	流域面積（km²）		堤高	堤長	堤体積	基盤・地盤	貯水量（千m3）		備考
		直接	間接	(m)	(m)	(千m3)	地質	総貯水量	有効貯水量	
	均一型	0.035		5.80	53.0	4.70		3.7	3.7	
洪水吐	型式	洪水量（m3/s）	備考	取水施設	型式	取水量（m3/s）	放流施設	型式	放流量（m3/s）	備考
	越流堰式	1.28			スライドバルブ巻上式	0.03		－	－	

名称	ため池群萩間川2期			位置	牧之原市 西山寺 地内			沢木大池		
堤体	型式	流域面積（km²）		堤高	堤長	堤体積	基盤・地盤	貯水量（千m3）		備考
		直接	間接	(m)	(m)	(千m3)	地質	総貯水量	有効貯水量	
	傾斜遮水ゾーン型	0.104		6.1	25.2	2.80		6.0	6.0	
洪水吐	型式	洪水量（m3/s）	備考	取水施設	型式	取水量（m3/s）	放流施設	型式	放流量（m3/s）	備考
	水路流入式	3.50			スライドバルブ巻上式	0.030		－	－	

名称	ため池群萩間川2期			位置	牧之原市 大寄 地内			東沢池		
堤体	型式	流域面積（km²）		堤高	堤長	堤体積	基盤・地盤	貯水量（千m3）		備考
		直接	間接	(m)	(m)	(千m3)	地質	総貯水量	有効貯水量	
	傾斜遮水ゾーン型	0.152		8.7	58.5	14.00		9.4	9.4	
洪水吐	型式	洪水量（m3/s）	備考	取水施設	型式	取水量（m3/s）	放流施設	型式	放流量（m3/s）	備考
	越流堰式	3.68			スライドバルブ巻上式	0.060		－	－	

名称	ため池群萩間川2期			位置	牧之原市 大寄 地内			奥の池		
堤体	型式	流域面積（km²）		堤高	堤長	堤体積	基盤・地盤	貯水量（千m3）		備考
		直接	間接	(m)	(m)	(千m3)	地質	総貯水量	有効貯水量	
	傾斜遮水ゾーン型	0.128		6.5	48.0	6.84		5.4	5.4	
洪水吐	型式	洪水量（m3/s）	備考	取水施設	型式	取水量（m3/s）	放流施設	型式	放流量（m3/s）	備考
	越流堰型	4.45			スライドバルブ巻上式	0.060		－	－	

２．頭首工

※該当なし

（第17表-2）

名　　称				位　　置				備　　考
型　　式	堤　体 (m)	堤　　長　(m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m3/s)	付帯施設	
		固 定 部	可 動 部	計				

３．揚水機

※該当なし

（第17表-3）

項目 名称	位　　置	揚 水 量 (m3/S)	揚　　程　(m)		揚　　水　　機			原　　動　　機			備　　考
			全 揚 程	実 揚 程	型　式	口 径 (mm)	台数 (台)	型　式	動　力	台数 (台)	

４．用水路

※該当なし

（第17表-4）

項目 水路名	支　配　面　積　(ha)			通　水　量 (m3/S)	延　　長　(m)			構　造	勾　配	主要構造物	備　　考
	地区内	地区外	計		総 延 長	開　渠	そ の 他				

５．その他のかんがい施設

※該当なし

（第17表-5）

項　目 施設名	構　　造	規　　模	数　　量	備　　考

第2節　排水水門

１．排水水門

※該当なし

（第18表-1）

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m3/S)	備考

２．排水機

※該当なし

（第18表-2）

項目 名称	位置	揚水量 (m3/S)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	形式	口径(mm)	台数(台)	形式	動力	台数(台)	

３．排水路

※該当なし

（第18表-3）

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m3/S)	延長 (m)			構造	備考
	地区内	地区外	事業計		総延長	開水路	その他		

４．その他排水施設

※該当なし

第3節　道路及び索道

１．道路

(1)道路の総括表

※該当なし　　(第19表-1)

項目／区分	路線名	幅員(m)×延長(m)	構造	付帯構造物			最急勾配(%)	同左の延長(m)	最小曲線半径(m)	備考
				名称	構造	数量(箇所)				

(2)道路主要構造物

※該当なし　　(第19表-2)

項目／路線名	名称	規模構造	延長(m)	箇所数(箇所)	備考

２．索道

※該当なし　　(第19表-3)

項目／名称	延長(m)	高低差(m)	能力(t/hr)	原動機		備考
				型式	動力	

第4節　農用地造成

１．農用地造成工

(1)抜根

※該当なし　　(第20表-1)

項目／区分	樹種	樹径(cm)	ha当り本数(本/ha)	面積(ha)	工法	備考

(2)除礫

※該当なし　　(第20表-2)

項目／区分	対象土層の厚さ(cm)	ha当り平均除礫量(m3/ha)	面積(ha)	工法	備考

(3)開墾作業

※該当なし

(第20表-3)

区分 ＼ 項目		面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法			
計				

(4)地目変換

※該当なし

(第20表-4)

項目 ＼ 区分	面積 (ha)	工法	備考
計			

(5)末端用水路等

※該当なし

(第20表-5)

項目 ＼ 区分	数量	規模	構造	備考
計				

(6)末端排水路等

※該当なし

(第20表-6)

項目 ＼ 区分	数量	規模	構造	備考
計				

２．土壌改良

※該当なし

(第20表-7)

項目 ＼ 区分	面積 (ha)	石炭量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
計					

第5節　洪水調整機能

1．貯水池　　**※該当なし**

2．頭首工及び導水路

(1)頭首工

※該当なし　　(第21表-1)

名称			位置					備考
			堤長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設備	
型式	集水面積 (km²)	堤高 (m)	固定部	可動部	計			

(2)導水路

※該当なし　　(第21表-2)

項目 / 水路名	通水量 (m3/s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		総延長	トンネル	その他			

第6節　干拓施設

1．堤防

※該当なし　　(第22表-1)

項目 / 名称	型式 (m)	延長 (m)	構造					原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土高 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2．潮止め

※該当なし　　(第22表-2)

項目 / 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

３．付属施設　　※該当なし

４．埋立

※該当なし　　（第22表-3）

項目 名称	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m3)	施工方法	備考

第7節　農用地整備施設

１．区画整理

(1)区画整理

※該当なし　　（第23表-1）

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 千m3	面積 (ha)	土量 千m3	

(2)末端用水路等

※該当なし　　（第23表-2）

項目 区分	数量	規模	構造	備考
計				

(3)末端排水路等

※該当なし　　（第23表-3）

項目 区分	数量	規模	構造	備考
計				

２．暗渠排水

(1)暗渠排水

※該当なし

(第23表-4-1)

項目 / 区分	面積(ha) 事業名		計	集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
				勾配	管種	管径(mm)	延長(m/ha)	勾配	管種	管径(mm)	深さ(m)	間隔(m)	延長(m/ha)	名称	構造	数量(m/ha)	
0.0																	
計																	

(2)心土破砕

※該当なし

(第23表-4-2)

区分 / 項目	対象土層の厚さ(cm)	ha当り標準除礫量(m3/ha)	面積(ha)	工法	備考
計					

３．客土

※該当なし

(第23表-5)

区分 / 項目	面積(ha) 事業名		計	客入土量(m3)	土取場土量(m3)	運搬距離(km)	運搬方法	備考
計								

４．除礫

※該当なし

(第23表-6)

区分 / 項目	対象土層の厚さ(cm)	ha当り標準除礫量(m3/ha)	面積(ha)	工法	備考
計					

5．農地保全

(1)防災林

※該当なし

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
計						

(2)排水路

※該当なし

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m3/s)	構造	備考
計				

(2)侵食防止工

※該当なし

(第23表-9)

項目 名称	構造	数量	備考
計			

第8節 ため池改修施設

１．貯水池

（第24表）

名称	ため池群萩間川2期				位置	牧之原市 男神 地内 百所池		
堤体	型式	流域 (km²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m3)	堤長幅 (m)	貯水量 (千m3)	備考
	均一型	0.035	5.8	53.0	4.70	3.2	3.7	
洪水吐	型式	洪水量 (m3/s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m3/s)	備考
	越流堰式	1.28	2.00			スライドバルブ巻上式	0.032	

名称	ため池群萩間川2期				位置	牧之原市 西山寺 地内 沢木大池		
堤体	型式	流域 (km²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m3)	堤長幅 (m)	貯水量 (千m3)	備考
	遮水傾斜ゾーン型	0.104	6.1	25.2	2.8	3.3	6.0	
洪水吐	型式	洪水量 (m3/s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m3/s)	備考
	水路流入式	3.50	4.26			スライドバルブ巻上式	0.030	

名称	ため池群萩間川2期				位置	牧之原市 大寄 地内 東沢池		
堤体	型式	流域 (km²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m3)	堤長幅 (m)	貯水量 (千m3)	備考
	遮水傾斜ゾーン型	0.152	8.7	58.5	14.00	3.9	9.4	
洪水吐	型式	洪水量 (m3/s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m3/s)	備考
	越流堰式	3.68	3.90			スライドバルブ巻上式	0.060	

名称	ため池群萩間川2期				位置	牧之原市 大寄 地内 奥の池		
堤体	型式	流域 (km²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m3)	堤長幅 (m)	貯水量 (千m3)	備考
	傾斜遮水ゾーン型	0.128	6.5	48.0	6.8	3.3	5.4	
洪水吐	型式	洪水量 (m3/s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m3/s)	備考
	越流堰型	4.45	3.60			スライドバルブ巻上式	0.060	

２．堤体補強施設

（1）堤体改修

百所池　上流側は腹付け盛り土で安全率を確保し、下流側は押さえ盛土にて耐震性を確保する。

沢木大池　現行の基準に合致した余裕高等に改修を行う。上下流斜面ともに、押さえ盛土にて改修を行う。

東沢池　掘削置換え(改良土)によって改修を行う。

奥の池　堤体上下流側ともに、改良土置換及び押え盛土の施工に加え、基礎地盤の地盤改良を行い耐震性を確保する。

（2）漏水防止工

第6章　付帯工事計画

※該当なし

第7章　工事の着手及び完了予定時期

着　　手：令和　7　年度

完了予定：令和　12　年度

第8章　環境との調和への配慮

本地区の工事期間中は、ため池上流部を掘り、水をためることなどを行い、ため池に生息する生物を一時退避させるように配慮する。

また、渡り蝶であるアサギマダラが飛来してきているため、アサギマダラが好む植物「フジバカマ」が確認された場合、保全する。

第 9 章　換 地 計 画 の 概 要

第 1 節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

※該当なし

第 2 節　換 地 区 の 設 定

1．換地区の名称、所在、面積

（第25表-1）

※該当なし

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)	備考
計			

2．換地区を設定する理由

※該当なし

第 3 節　換 地 計 画 樹 立 の 基 本 方 針

1．従前の土地の地積の基準

（第25表-2）

換地区名	地積の基準	備考

2．用途別予定地積

（第25表-3）

※該当なし

換地区名	用途（取得予定者）前→後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地（令第1条の4()書）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			合計	特定用途用地			異種目換地	農業経営化地	合理化施設用地	生活条件施設用地	経営上必要な施設用地	公共用地	施設用地	宅地等	計	合計	国	県	市町他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計		宅地	その他	計															
	従前																														
	換地後																														
	従前																														
	換地後																														
合計	従前																														
	換地後																														

3．農用地集団化の方針

（第25表-4）

区分／換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法			備考
		位置の選択方法	1戸当り目標団地数	区画畦畔の取扱い	
※該当なし					

4．非農用地換地の方法

（第25表-5）

区分／換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積（㎡）	換地の手段	換地取得予定者	備考
※該当なし						

第 4 節　土地の評価及び清算の方法

1．評価の方法

※該当なし

2．清算の方法

※該当なし

第 5 節　換地計画樹立の年度計画

（第25表-6）

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
※該当なし				

第 6 節　換地処分の時期に関する特則

※該当なし

第１０章　　事業費の総額及び内訳

（第26表）

項目 事業種目	事業量	事業費	備考
		千円	
工事費	1.0　式	425,000	
測量及び試験費	1.0　式	60,000	
用地費及び補償費	1.0　式	39,000	
換地費	1.0　式		
小計		99,000	
合計		524,000	
事務費	1.0　式	26,000	
総事業費		550,000	

第１１章　　効　　用

（第27表）

事業名	区分	増加見込効果額（千円）	増加見込所得額（千円）	備考
農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業	営農経費節減効果			食料の安定供給の確保に関する効果
	維持管理費節減効果			〃
	災害防止効果（農業関係資産）	10,085		農業の持続的発展に関する効果
	〃（一般資産）	23,627		農村の振興に関する効果
	〃（公共資産）			多面的機能の発揮に関する効果
				総費用（現在価値化） 562,375 千円
				総便益額（現在価値化） 698,515 千円
				総費用総便益比 1.24
	計	33,712		

第１２章　　関連する事業

※該当なし

第１３章　　現況・計画図面

1. 計画一般図
2. 計画平面図
3. 土地利用計画図